

みずほCustomer Desk Report 2019/12/30 号 (As of 2019/12/27)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】			公示仲値		109.68
	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	109.53	1.1102	121.73	1.3003	0.6947
SYD-NY High	109.61	1.1188	122.50	1.3117	0.6988
SYD-NY Low	109.40	1.1095	121.62	1.2970	0.6941
NY 5:00 PM	109.47	1.1173	122.42	1.3084	0.6983
NY DOW	28,645.26	23.87	日本2年債	-0.130	▲1.00bp
NASDAQ	9,006.62	▲15.77	日本10年債	-0.010	1.00bp
S&P	3,240.02	0.11	米国2年債	1.5842	▲4.78bp
日経平均	23,837.72	▲87.20	米国5年債	1.6772	▲4.09bp
TOPIX	1,733.18	1.98	米国10年債	1.8761	▲1.74bp
シカゴ日経先物	23,795.00	▲160.00	独10年債	-0.2555	▲1.30bp
ロンドンFT	7,644.90	12.66	英10年債	0.7530	▲1.50bp
DAX	13,337.11	36.13	豪10年債	1.2975	▲1.00bp
ハンセン指数	28,225.42	361.21	USDJPY 1M Vol	4.38	0.28%
上海総合	3,005.04	▲2.32	USDJPY 3M Vol	5.15	0.06%
NY金	1,515.60	1.20	USDJPY 6M Vol	5.61	0.06%
WTI	61.69	0.01	USDJPY 1M 25RR	-0.90	Yen Call Over
CRB指数	187.18	0.50	EURJPY 3M Vol	5.58	0.21%
ドルインデックス	96.92	▲0.62	EURJPY 6M Vol	5.99	0.07%

東京	東京時間のドル円は109.53レベルでスタート。日経平均株価の軟調な展開を眺めてやや売られ109.43まで下落。同水準で売りは一服し、午後はクリスマス休暇明けの欧州勢の動向を見極めたいとの流れから積極的な売り買いはなく、方向感に欠く動きが続き、109.51レベルで海外時間に渡った。
ロンドン	ロンドン市場ドル円は動意薄となった。109.51レベルでオープン後、クリスマスや年末年始の休暇シーズンのため市場参加者が少ないことや新規材料難に、6銭の小幅な動きとなり109.51レベルでニューヨークに渡った。ポンドは上昇。1.2995レベルでオープン。ボゾン調整によるポンド買いが薄いマーケットのため値動きが誇張され1.3100まで上昇した。1.3094レベルでニューヨークへ渡った。(ロンドンリー00531 444 179 西海)
ニューヨーク	海外市場のドル円は、高寄り後の日経平均株価がマイナス圏に沈む動きを眺め、109.43まで下落。しかし、クリスマス休暇明けの様子見ムードが広まる中、109.50を挟んだ狭いレンジで推移し、109.51でNYオープン。朝方は、主要な米経済指標の発表が予定されておらず、材料が乏しい中、方向感の無い推移が続く。その後、ロンドンフィクシングにかけてドル買いが先行し、一時109.59まで上昇するが、滞空時間短かった。午後にかけては、米金利の低下に圧迫され、109.40まで下落するが、週末を前に積極的な取引は手控えられており、この水準で下げ止まる。終盤は小幅値を戻し、109.47でクローズ。一方、海外市場のユーロドルは、1.1100近辺でスタートするが、休暇明けの欧州株式市場が堅調に推移する中、ユーロの買い戻しが進み、1.1152でNYオープン。朝方は、米金利の低下もあいまって、海外時間の流れを引き継ぐ展開となり、1.1188まで高値を更新する。1.1200手前では売り意欲も見られる中、この水準では上値が重くなり、小幅反落後、1.1173まで下落してクローズ。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 山岸・大庭 TEL:03-3242-7070 FAX:03-3211-5825 LDN 00531-444-179 NY 00531-113-682

【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
12月27日	8:30	日 東京CPI/コアCPI/コアコアCPI	12月 0.9%/0.8%/0.9%	0.9%/0.6%/0.7%
	8:30	日 失業率	11月 2.2%	2.4%
	8:50	日 日銀金融政策決定会合 主な意見「引き続き、緩和专业を意識した政権運営を行うことが適当」		
	8:50	日 鉱工業生産・速報(前月比/前年比)	11月 ▲0.9%/▲8.1%	▲1%/▲8.1%

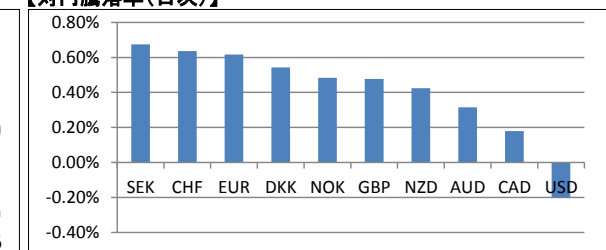
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
12月30日	22:30	米 卸売在庫(前月比)	11月 0.2%	0.1%
12月31日	0:00	米 中古住宅販売契約(前月比)	11月 1.3%	▲1.7%
	0:30	米 ダラス連銀製造業活動	12月 0	▲1.3

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【マーケットインプレッション】 TOKYO2020

今年も本日で最終営業日。そして来年は2020年という節目の年であり、東京オリンピックの年。56年ぶりの東京開催であり、日本でのオリンピックは、冬季を含めても長野以来22年ぶりとなる。日本が世界中から注目される年でもあり、明るいムードの中で、長野オリンピックで見たスキージャンプ団体のような大きな飛躍を日本経済にも期待したい。

為替相場については、米中間題などで混乱しなければ、来年2020年もしばらくは小幅な値動きが続くそう。まずは米FRBの金融政策。今月のFOMCで政策金利は当面据置きとのスタンスが示され、不動のFRBのもと、金利も為替も大きな方向感には出にくいのでは。昨今の今頃は、株価急落の度に利下げ圧力が強まったが、直近のFOMCも波乱なく終わり、いわゆる「利下げスパイラル」からFRBは一旦脱却した模様。次にトランプ政権。来年は大統領選挙がやはり注目されるなか、再選を狙うトランプ氏が株価の高値維持を目指すという声はよく聞かれる。株価が堅調さを保つなかでは、リスク選好姿勢が円安ドル高要因となりそう。音楽が鳴っているうちは、踊り続けなければならない状況に懐疑的な見方があるが、金融緩和→株高→資産効果→堅調な個人消費の好循環でリスクオンムードはしばらく継続か。一方で、円安ドル高に振れる局面では、米国の通貨安けん制に動くことも想定される。米国の第一主義と国内製造業保護を掲げるトランプ政権にとって、自国通貨高は回避したい展開であり、けん制への思惑から、一方的な円安ドル高の動きにも歯止めがかかりそう。

結局、FRBの金融政策・米政権の為替政策については、相場を大きく動かす要因にはなり難い。為替相場の安定は経営の見通しが立てやすくなる点では、日本経済にとっては福音でもあり(ただし相場の急変に備えてヘッジは怠らずにしておきたい)、来年は明るい1年になることを切に希望したい。今年も1年間ご愛読いただきまして、誠にありがとうございました。

■今週のドル/円 見通し

田中	竹内	筒井	加藤	関	光石	山岸	田坂	尾身	上野
ベア	ベア	ブル	ブル	ベア	ブル	ベア	ブル	ベア	ブル
岡本	小野崎	玉井	原田	大庭	高村	松本	逸見	大谷	谷舗
ブル	ブル	ベア	ベア	ブル	ベア	ブル	ブル	ブル	ベア

ブル	ベア
11	9